

一般社団法人

日本林業技士会よりのご挨拶



一般社団法人 日本林業技士会会長 小林 洋司

会員の皆様には、年度末を控えお忙しく、ご活躍のことと思います。

日頃、日本林業技士会の活動に、ご支援、ご指導、ご協力有り難うございます。

世界情勢は、相変わらずのイスラエルのガザ地区攻撃、ロシアのウクライナ侵攻による侵略戦争が続いております。そんな中での少数与党の石破政権が発足しました。また、アメリカでは異次元のトランプ大統領が再登場し国際情勢は賑やかになっております。こういった背景による物価の高騰、実質賃金の低迷、企業の原料高から来る業積の不振など厳しい経済状況に見舞われております。

林業を見ますと「建築ブーム」による「ウッドショック」と称し、製材品の不足から一時てきな木材価格高騰がありました。立木価格は相変わらず低迷状態です。林業現場では、未だ、再造林が不可能など厳しい状況が続いているようです。林業事業体数は激減、現場では人手不足と労働死傷事故の増加です。林野庁の施策であります、環境税、環境譲与税に伴う、新たな林野行政に期待したいと思っております。

このような状況の中、林業現場で活躍する「林業技士」の皆さんはたいへんな状況と思っております。課題山積み、問題山積み、ここでは触れませんが

林業労働災害の多発、林業作業者の不足、立木価格、材価の低迷、どれを考
えても解決困難な問題ばかりです。現場作業の指導的立場、現場のリーダ
ーとしての立場、重圧は大変と思います。

現場と言っても「林業技士」の皆さんは、行政、事業体としての会社、森
林組合、県、市町村、団体の中で活躍しております。それぞれの立場でこの
ような時期でこそ、問題解決に当たって欲しいと思います。大変な時期を
乗り切って初めて、明るい未来が開けます。皆さんの活躍を期待しており
ます。

本会は、一般社団法人・日本林業技士会昨年設立され、会員皆様に対し
て、また社会に対して林業発展のため活動して参りたいと思います。まず
林業技士資格の有効活用の推進、国地方公共団体が実施するたとえば森林
整備事業や林道・治山事業に当たり、事業を実施する企業、団体に「林業技
士」資格者の在籍を求めるべく、各支部との連携を深めながら森林技術協
会と連携し、関係機関への要請に努めます。関連し、国、都道府県へ、技士
会ニュースを配付しております。

法人化された日本林業技士会の活性化については、私ども本部関係者の
活動は当然のことながら、会員自身の活動と理事の皆さんの協力、特に各
支部長さんの活躍にかかっているものと思います。

日本林業技士会の活動に、ご支援、ご指導、ご協力よろしくお願ひします。

本年の会員皆様のご健康とご発展をお祈りいたします。

令和7年2月